



あに

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課
印刷所 秋田県森吉山中央印刷所

町の人口

7,058人

(15人減)

男 3,397人

女 3,661人

世帯 1,806

(一世帯減)

転入 15人

転出 32人

出生 4人

死亡 6人

昭和51年7月31日現在の
住民基本台帳人口による

雄大なスケールで森吉山一帯に広がるブナの天然林、その大自然の中で、ことしも開設されたおなじみの「阿仁町キャンプ村」。夏休みを利用して小、中学生に高校生、それに家族づれもくり出し、日頃、静かな山もひととき賑わいを呈しました。ことは、八月初旬の雨のせいもあって、当初申し込みの約半数近い三百人足らずの参加者でしたが、せわしい日常生活から開放されてのキャンプ生活は、それなりに貴重な生活体験だったようです。薪を拾い、水を汲み、馴れない手つきで食事の準備に汗を流す中学生、今夜のオカズは、と聞いたら「インスタントカレー」と笑顔が見えってきた。その文明臭いことはに思わず苦笑させられる。夏の夜空に、激しく燃え上がるキャンプファイヤー、歌声が大自然に遠くコダマするキャンプの一 日でした。

(七月三十一日・八月八日)

森吉山ブナ岱

168号

'76年8月

新しい蛇口から、きれいな水が勢いよく。→



〔部落南向いの高地に設けられた配水槽、ここで一旦貯えられた水が、自然落差の圧力で各家庭へと送られる。貯水量は62m³、トラム缶で300本の量である。〕



打当地区簡易水道事業が八月二十日から、本格的給水をはじめました。配水のための基幹工事は昨年中に完成していたので、ことしに入つて、水管から各家庭への給水工事が完成したので、正式にスタートすることになったのです。

同地区には、打当内、打湧水や自然の流水を使用し

当、前山の三部落があり、公民館を含めた全世帯四十戸、二百人余が給水の対象となっています。工事は、取水工事、配水槽の築造物のほかに、本管工事が約四キロ余、ほかに消火栓十一基が設置され、三千七百五十万円が投資されました。

この地区では、泳い間、

きれいな水が出ます 打当地区簡易水道がスタート

ていきましたが、水道の普及によつて、今までのよう雨が降ると水が濁るという汚染の心配もなくなり、また、渴水期の水枯れの心配も解消されることになります。

水道の管理は町が主体となり、料金も阿仁合地区の使用料金と同じく、一ヶ月以上は一立方米につき五十五円が加算されます。

参考までに、阿仁合地区的使用料金を見てみますと一般家庭では殆んどが一ヶ月五百十円の基本料金内となっています。

参考までに、阿仁合地区的使用料金を見てみますと一般家庭では殆んどが一ヶ月五百十円の基本料金内となっています。

このため、本年度の国保会計は、今までにない歳出増が予測され、当然、国からの負担も増えるとともに、加入者のみなさんにも保険税の値上げという形で協力をお願ひせざるを得なくなりました。

いままでの国、県の交付金を増やすことで、加入者の保険税の引き上げを極力押さえてしまましたが、本年度からは、他町村並の税率に改正することになりました。

これによりますと、国保加入世帯一世帯当たり、平均六万九千円となります。

主なる改正案は次のとおりです。

主なる改正案は次のとおりで

す。

△課税限度額

十二万円を十五万円に。

△所得割額

百分の四・六を

百分の九・三に

△被保険者均等割

一人三千四百四十円を

一人五千四百五十五円に

△世帯平等割額

一世帯八千八十円を

一世帯一万二千三百円に

△水道設置条例及び

給水条例の改正

打当地区簡易水道事業の新設に伴ない、関係分の条例が一部改正なりました。

臨時町議会

八月五日、臨時町議会が開かれ、国民健康保険税率の改正や、十二ノ沢官行林の売買契約など八つの議案が審議され、原案どおり可決なりました。

◎国保税率を改正

一世帯 六万九千円に

二億三千五百四十三万七千九百二十円。

△契約金額

△契約方法 隨意契約

△杉、赤松、広葉樹素材

△阿仁町水無阿仁川木

材株式会社 代表取締役 布川辰雄

△阿仁合財産区会計補正

△

大国ソビエトの想い出

「秋田県訪ソ青年の船に、当町から鈴木三千英さんと、富原竹子さんの二人が参加しましたが、七月二十五日から二十二日までの、二週間にわたるソビエト体験の報告を、二人を代表して鈴木さんにご報告をいただきま

訪ソ青年の船に
参加して

鈴木三千英 (24)

幸屋 渡
役場勤務

モスクワ「赤の広場」前で

国内での時差約十一時間、世界の陸地の六分の一を占め、ヨーロッパとアジアの二つの顔を持ち、一方の側からは絶えざる期待と尊敬を集め、他方の側からは憎悪と非難を受けている社会主義国ソビエト連邦を七月十二日から二十五日まで二週間、期待と不安と興味が交錯する複雑な心境のうちに、無事研修旅行を終えることができたことをご報告すると共に、町民のみなさんのご協力とご援助に深く感謝します。

ロシア人の性格が、哀愁、郷愁の漂うカチューシャ、

トロイカ、ともしうなどのロシア民謡を、よく好んで口ずさむという日本人、とりわけ東北人がその気候、風土のもとで、彼等の性格と似ているところがあるといわれる気質の一部を見たと感じたひと時があった。

七月十八日の日曜日、レニン格ラードでイギリスの大英博物館、フランスのルーブル美術館、アメリカのメトロボリタン美術館と共に世界の四大美術館の一つに数えられ、一八六〇年代から収集が始まられ、現在も及び、特にレオナルドダ

ビンチ、ピカソ、レンブラント、ゴッホ、ラファエロ、ルノアールなど世界に名だ

たる画家の作品はすべてあ

るといわれるくらいつば

なもので、この美術館の廊

下は三千数キロにも及ぶと

いうエルミタージュ美術館

の見学を終え、午後からは

ピョートル大帝が一七一四

年、北方戦争の勝利を祝つてロシアのペルサイユ宮殿

にしようとして作った“夏の宮殿”に行った時のことである。

白夜と石、それにイタリ

アのベニスと並び称される

水の都にふさわしく、研修

期間中に最初で最後の雨に

見舞われた。最初は北国と

いう言葉の持つひびきの良

さに酔い、豊かな並木道、

西洋的なしつとりと落ちつ

いた調和美の中の小雨にけ

むるレニン格ラードの逍遙

という表現がぴったりで

あつたが、しだいに雨粒があ

その大きさを増し、逍遙と

いつたロマンチックな感じ

はうとうしさに変わり、

ポケットからハンカチを取り出し、頭にのせるもの、

上着をぬいで頭からすっぽりかぶるもの、うつそうたる広葉樹林のナラやカエデの大木に身を寄せせるもの、

まるで雨が私たちを歓迎しているようだった。ふと周

囲を見渡して、そうするの

は私たちだけ（日本人）で

定を受けて、全面的な見直

りました。

計画作成事務としては九

月中に各地区を巡回して、

その意向を確認する予定で

ありますから、左記の農用

地移動を考えている方は、

事前にその地番、用途、面

積を把握しておいて下さい。

一、田、畑、樹園地等を

将来宅地、山林等に転用し

てあるのに気がついてびっくりした。

十九世紀後半、列国の侵略

と足早に通り過ぎよう

とするでもなく、濡れるこ

とを敬遠して背中をまるめ

るような格好で歩くわけでもなく、若者はいうに及ばず、子供も老人もミニスカートの女の子も、胸を張つてのどうどうの歩みである。

この時、これがロシア人だと思った。固く口をとざしてその表情に、第二次大戦

中ナチスドイツの九百日

にも及ぶ猛攻を受け、レニ

ングラードだけで軍人、軍

属、民間人合わせて百

万人もの死者を出したながら

もドイツ軍を撃退し、さら

に古くは冬将軍、白い魔魔

と呼ばれる大きな味方があ

ったにしろ一八一二年、六

十余万の大軍を率いてモス

クワに侵攻して来たナポレ

オンを敗走させた。粘り強

さ、がまん強さ、辛抱強さ

などが、日本人よりも

びつたりするようなペルシ

ニア系の美人に出会うたびに、

子供のころ読んだアラビア

ンナイトに出てくるお姫様

の姿が、墨絵のように浮か

んで来るのを覚え、さんざ

んとふり注ぐ太陽のもとで、

さうして見上げた空に、秋の

氣配を感じた。秋の代表

的な雲として俗に“うろこ

雲”といわれている絹積雲

が、その独特な雲形を青空

のキヤンバスに描いていた

からである。

土崎沖に停泊中の船で冷房のきいている船室から外に出た。三十度をとっくに越え、“汗が噴く”という形容がびつたりの日、なにげなく見上げた空に、秋の

氣配を感じた。秋の代表

的な雲として俗に“うろこ

雲”といわれている絹積雲

が、その独特な雲形を青空

のキヤンバスに描いていた

からである。

ア人という気はなしきつ

て代表されるロシア人気質

の一部をかいま見たという

こいエレバンの人たちは、

南米的を感じこそそれロシ

ア人という気はなしきつ

り気がした。

十九世紀後半、列国の侵

略の軍靴に踏みにじられ

ひと頃盛んに使われ、今

ではすっかり影をひそめた

鉄のカーテン”よく使わ

れる“体制の違い”という

言葉の裏には知らないこと

を知らないですそぞうとす

ることがあるのでないか。

知らないことが恥かしいの

ではなく知ろうとしないこ

とが恥かしいことと思うの

を知らないですそぞうとす

ることがあるのではないか。

知らないことが恥かしいの

ではなく知ろうとしないこ

